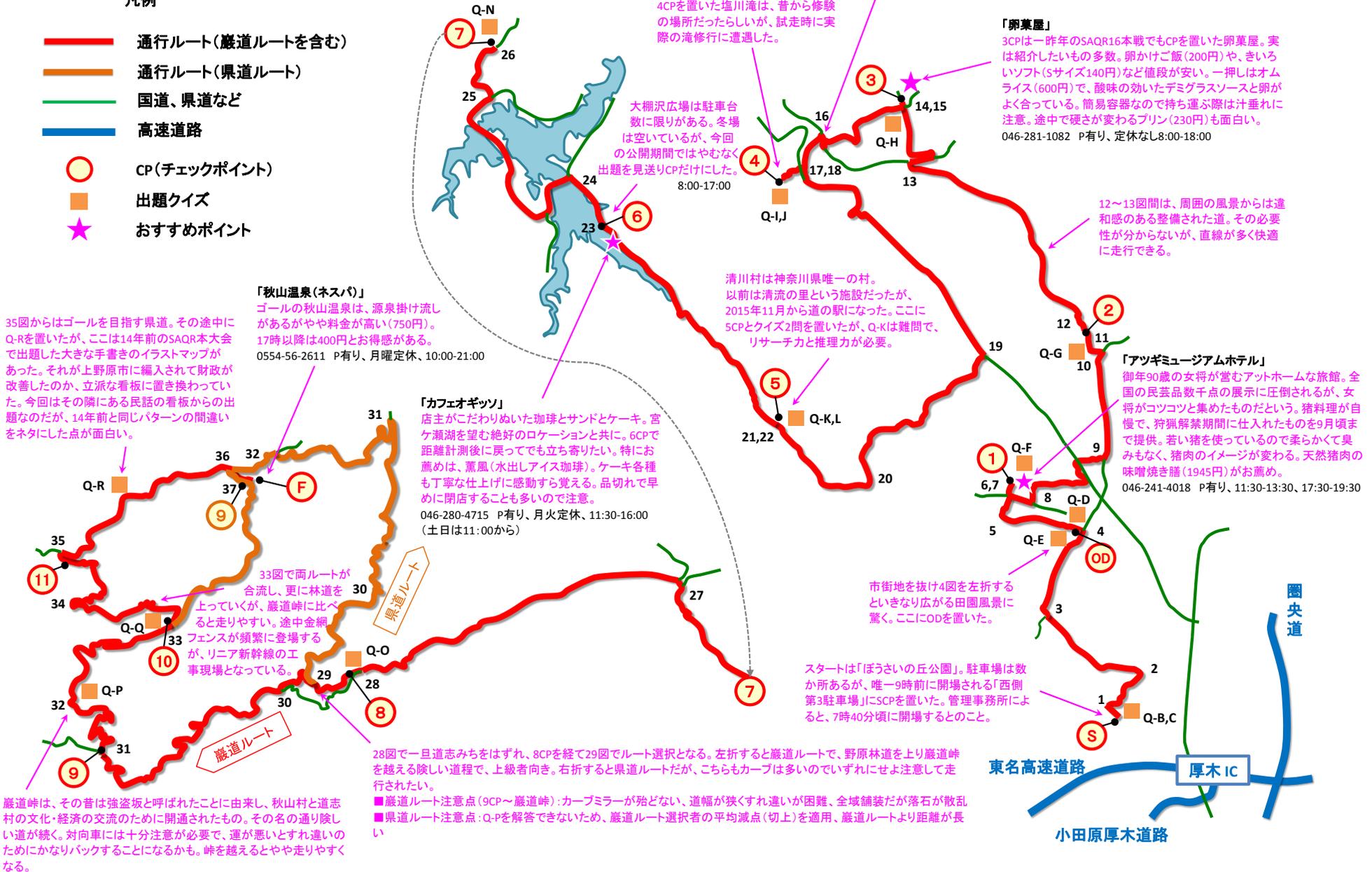


SAQR16番外編&SAQR18予告編「巖道か県道か道志よう？」



凡例

- 通行ルート(巖道ルートを含む)
- 通行ルート(県道ルート)
- 国道、県道など
- 高速道路
- CP(チェックポイント)
- 出題クイズ
- ★ おすすめポイント



35図からはゴールを目指す県道。その途中でQ-Rを置いたが、ここは14年前のSAQR本大会で出題した大きな手書きのイラストマップがあった。それが上野原市に編入されて財政が改善したのか、立派な看板に置き換わっていた。今回はその隣にある民話の看板からの出題なのだが、14年前と同じバターの間違いをネタにした点が面白い。

「秋山温泉(ネスバ)」
 ゴールの秋山温泉は、源泉掛け流しがあるがやや料金が高い(750円)。17時以降は400円とお得感がある。
 0554-56-2611 P有り、月曜定休、10:00-21:00

「カフェオギッソ」
 店主がこだわりぬいた珈琲とサンドとケーキ。宮ヶ瀬湖を望む絶好のロケーションと共に。6CPで距離計測後に戻ってでも立ち寄りしたい。特にオススメは、薫風(水出しアイス珈琲)。ケーキ各種も丁寧な仕上げに感動すら覚える。品切れで早めに閉店すること多いので注意。
 046-280-4715 P有り、月火定休、11:30-16:00(土日は11:00から)

巖道峠は、その昔は強盗坂と呼ばれたことに由来し、秋山村と道志村の文化・経済の交流のために開通されたもの。その名の通り険しい道が続く。対向車には十分注意が必要で、運が悪いとすれ違いのためにかなりバックすることになるかも。峠を越えるとやや走りやすくなる。

28図で一旦道志みちをはずれ、8CPを経て29図でルート選択となる。左折すると巖道ルートで、野原林道を上り巖道峠を越える険しい道程で、上級者向き。右折すると県道ルートだが、こちらカーブは多いのでいずれにせよ注意して走行されたい。
 ■巖道ルート注意点(9CP~巖道峠):カーブミラーが殆どない、道幅が狭くすれ違いが困難、全域舗装だが落石が散乱
 ■県道ルート注意点:Q-Pを解答できないため、巖道ルート選択者の平均減点(切上)を適用、巖道ルートより距離が長い

4CPを置いた塩川滝は、昔から修験の場所だったらしいが、試走時に実際の滝修行に遭遇した。
 大棚沢広場は駐車台数に限りがある。冬場は空いているが、今回の公開期間ではやむなく出題を見送りCPだけにした。
 8:00-17:00

馬渡橋の掛替工事が遂に完成。以前はすれ違いができなかったが、6年越しの工事で今年2月17日に開通した。

「卵菓屋」
 3CPは一昨年のSAQR16本戦でもCPを置いた卵菓屋。実は紹介したいもの多数。卵かけご飯(200円)や、きりいソフト(Sサイズ140円)など値段が安い。一押しはオムライス(600円)で、酸味の効いたデミグラスソースと卵がよく合っている。簡易容器なので持ち運ぶ際は汁垂れに注意。途中で硬さが変わるプリン(230円)も面白い。
 046-281-1082 P有り、定休なし8:00-18:00

12~13図間は、周囲の風景からは違和感のある整備された道。その必要性が分からないが、直線が多く快適に走行できる。

清川村は神奈川県唯一の村。以前は清流の里という施設だったが、2015年11月から道の駅になった。ここに5CPとクイズ2問を置いたが、Q-Kは難問で、リサーチ力と推理力が必要。

「アツギミュージアムホテル」
 御年90歳の女将が営むアットホームな旅館。全国の民芸品数千点の展示に圧倒されるが、女将がコツコツと集めたものだという。猪料理が自慢で、狩猟解禁期間に仕入れたものを9月頃まで提供。若い猪を使っているため柔らかくて臭みもなく、猪肉のイメージが変わる。天然猪肉の味噌焼き豚(1945円)がオススメ。
 046-241-4018 P有り、11:30-13:30、17:30-19:30

市街地を抜け4図を左折するときかなり広がる田園風景に驚く。ここにODを置いた。

スタートは「ぼうさいの丘公園」。駐車場は数か所あるが、唯一9時前に開場される「西側第3駐車場」にSCPを置いた。管理事務所によると、7時40分頃に開場すること。

東名高速道路
 厚木 IC
 小田原厚木道路